

■会長／八幡 一成 ■幹事／小針 哲郎

◆司会＝SAA 小口 泰幸 副 SAA 三澤 郁馬

◆ゲストビジター＝橋上 信久 ガバナー 蒲 秀雄 地区幹事
渡邊 良輔 飯田南 RC

◆出席報告

本日	67.35%	16 名欠席
前回訂正	79.59%	10 名欠席

◆ラッキーナンバー＝No. 38 北川和彦君

◆ニコニコボックス＝●八幡一成君・小針哲郎君＝橋上ガバナー会本日はよろしくお願ひいたします。●有賀昭彦君・森幸俊君＝橋上ガバナーをお迎えして・勤続表彰ありがとうございます。●小口泰幸君・平林 明君・三澤郁馬君・佐藤忠士君・玉本広人君・吉越 潔君＝橋上ガバナー諏訪 RC へようこそ。●宮沢幸一君・合田敦子君＝橋上ガバナー本日はご来会ありがとうございます。●小口武男君＝橋上ガバナーようこそ本日はよろしくお願ひします。●北川和彦君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・八幡一成君＝本日はガバナー公式訪問です。橋上ガバナーよろしくお願ひいたします。今年度は創立 70 周年に当たります。諏訪ロータリークラブは 1957 年 (昭和 32 年) 6 月 11 日に設立総会 が行われ、その日から諏訪クラブの歴史が始まりました。その前年に設立された松本ロータリークラブ、飯田ロータリークラブに次いで長野県下で 3 番目のロータリークラブです。今日は創立当初の様子を創立 10 周年の記念誌から読みたいと思います。まずは初代会長の藤森伝一 (ふじもり でんいち) さんの文章から抜粋してご紹介いたします。昭和 31 年の秋頃、松本信陽新聞の宮坂さんが拙宅へ御来臨、諏訪市へロータリークラブを作るようすすめられました。その後、まだ日本相互銀行三階 (現三井住友銀行の場所と思います) にあったころの商工会議所に副会頭、専務が集まったとき、小泉副会頭から松本の渡辺魚問屋が来られて、その都度ロータリークラブの設立をすすめられるといった話が出ました。しかし、皆が容易に設立に踏み切れないのは、毎週例会を開くことがお互いに至難であるということでした。昭和 32 年春頃、宮坂氏が松本クラブの方たち大勢とご一緒に再度ご来宅、相当きつく (熱心に) 設立するようすすめられました。その後 6 月 11 日、市民会館の畳の間に有志の会合を開いた席上、松本ロータリークラブ幹事の武居さんが来られ、設立総会に切りかえ「会長は藤森、幹事は松井さんとしてはどうか」とはかったところ、皆異議なしで決まってしまうました。設立届は松井さんが、書類一切をつくり、当時の戸田ガバナーに提出しました。たしか大垣瓦斯会社社長でした。同月のうちに承認されました。この総会で思い出すことは、佐藤諏訪赤十字病院長が出席されておられ、ロータリークラブは誰でも入れるというわけにはいかなかったので、会員の人選をするとき大変有益な参考になりました。続いて、初代幹事の松井澄寿 (まつい すみとし) さんの第 1 回例会メモから例会当日は、定刻 30 分前 12 時に会場へ会長と一緒に。会員に電

話して出席方要請、食事の配膳も初めてにて少し遅れ、定刻より 13 分遅れて開会、会場は昨日宮坂 (勝) さんと布半で打ち合わせてあったので、手際よく用意されてあった。食費 100 円にしては、大変内容豊富にて大勉強である。

開会、昼食、会長挨拶 (結成の経過説明、理事、幹事、会計の紹介、会費年額二万円に決定、預入銀行八十二銀行諏訪支店) 懇談 (質疑応答)、和気霽々のうちに出席全員でロータリーについて意見交換入会金一人五千円、出席者 16 人全員支払う初回特別に延長して 2 時間閉会と記録されています。第 1 回例会より、諏訪クラブは例会時間、曜日、例会場ともに変わらず今日の 3250 回例会まで至っています。今年度の諏訪クラブ方針を「RI 会長メッセージ、地区方針を踏まえた上で、創立 70 周年を祝い創立からの諸先輩方の思いを引き継ぎつつ、これからの諏訪ロータリークラブの在り方を考えていく」としました。今年 1 年間、折りに触れ会員皆さんとこれからの諏訪クラブの在り方を考えていきたいと思います。

◆幹事報告・小針哲郎君＝本日は、国際ロータリー第 2600 地区橋上信久ガバナーをお迎えしての「ガバナー公式訪問例会」です。また本日は、第 2600 地区 地区幹事 蒲秀雄 (かば ひでお) 様、飯田南ロータリークラブ 渡邊良輔 (わたなべ りょうすけ) 様のお二方にもご来訪いただいております。橋上ガバナー、蒲地区幹事、渡邊様、本日はご来訪いただき誠にありがとうございます。なお例会終了後に記念撮影を行います。皆様例会終了後速やかに諏訪湖畔「空へ像」の前にお集まりください。8 月 28 日 (金) に開催いたしました「第 2 回定例理事会」におきまして、以下の 5 点が審議・承認されましたのでご報告いたします。①長野日報「美しい環境づくり応援」特集への広告掲載について昨年に引き続き、協賛広告の掲載を承認いたしました。②旧型プロジェクターおよび破損したスクリーンを廃棄処分とし、今後の例会等では引き続き「布半様」の設備をお借りして運用いたします。③「クラブ計画書」の電子化について、将来的な完全電子化を見据え、今年度分の電子版 (PDF ファイル) を会員へ試験配布し、ご意見・ご感想を募ります。④ロータリーキャップ・ジャンパー在庫不足に伴い、前年度繰越金を活用して各 15 点を新規作成いたします。なお異動等に伴う会員交代の際は、後任者への引き継ぎをお願いいたします。⑤「忘年例会」の日程変更となります。当初予定の 12 月 18 日 (金) から 12 月 17 日 (木) 会場をホテル紅やへと変更いたします。金曜日から木曜日への変更となります。スケジュール確保をお願いします。ガバナー補佐事務局より

「新入会員セミナー」の開催案内が届いております。11 月 7 日 (土) 15:00 からマリオローヤル会館で開催されます。参加対象は、2021 年 11 月以降入会された入会 5 年未満の皆さんです。先日対象会員の皆さんにはメールをお送りしてございます。皆さんからの参加表明お待ちしております。先週ご入会いただきました清水会員は、出席委員会所属となりました。出席委員会の皆さんをはじめ、会員各位のご指導とサポートをお願いいたします。来週 9 月 11 日 (金) の例会はお休みです。次回例会は 9 月 13 日 (日) 早朝より、諏訪湖 RC との合同諏訪湖清掃です。詳細はこの後社会奉仕委員長よりご案内いただきますが、わたしたちのホームである諏訪湖をきれいにすることが大切な活動です。ご家族での参加も可能ですので、多くの皆様ご参加ください！

◆委員会報告●社会奉仕委員長・川村総一郎君＝皆さん、こ

んにちは。社会方針委員会からお知らせをいたします。来週 9 月 13 日日曜日、ロータリー奉仕デーということで、諏訪湖ロータリークラブと一緒に諏訪湖清掃を開催いたします。集合場所等々は先日の案内にある通りなんですが、石彫公園に集まっていたいて、下諏訪の境、民宿あひるさんの前の公園まで、約一時間をかけて諏訪湖清掃をしたと思います。その後、会長と諏訪湖ロータリークラブの会長に、ご挨拶をいただいて解散。そこからまた歩いて帰ってくる。約 8 時半頃まで開催したいと思います。当日雨の場合も私の方から中止の連絡はしませんので、皆さん独自で判断されて、小雨だったらやるよという方がいれば、ぜひ、カッパを着ていただいて、来ていただければと思います。諏訪湖を歩くもんですから、運動靴みたいなものがないのかなと思いますが、去年、山田文雄会員はすごい水の中まで入ってゴミを拾ってたんで、長靴を履いてきてくださっても結構かと思ひます。軍手だとか、ゴミ袋、トングはこちらの方で用意をさせていただきます。現在で 14、15 名の会員に出席のご意思をいただいておりますが、先ほど小針幹事がおっしゃったように、ご家族の方もぜひ参加していただければと思います。トングの方はですね、25 本ありますので、まだまだ余地はございますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。以上でございます。



◆ガバナー公式訪問●橋上信久ガバナーこんにちは。本年度、ガバナーを拝命しました。橋上と申します。よろしくお願いいたします。諏訪ロータリークラブ計画書のあなたの企業 PR って、これ素晴らしいことですね。今年はクリエイティブインパクト、持続可能なインパクトを生み出そうということであります。

本年度 RI 会長はオンラインカ・ハキーム・ババロラさん 1988 年に大学で工学の学位を取得。シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で 25 年間勤務し 4 大陸で

プロジェクトを実施。リビエラ・テクニカル・サーピス社（石油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の 2 社を設立。ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、ナイジェリア安全専門家協会、変革管理専門家協会などがある。経済・社会政策について政府に意見を提供する、故郷イバダンの組織「ジェリコ・ビジネスメン・クラブ」のメンバーとなっている。ローターアクターとして 10 年間活動し、1994 年からはトランス・アマディ・ロータリークラブの会員。2011-12 年度に地区ガバナー、2018-20 年度に RI 理事 2019-20 年度に副会長を務めた。2017-23 年度に End Polio Now:歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20 年度副委員長）、2013 年~現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016 年~現在アドバイザーでの役職を歴任。妻プレバさんと共にポート・ハーコート市に在住。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を援。シェルターボックス IJK の評議員としてボランティア活動も行っている。ポリオのない世界のための地域奉仕賞、RI 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しています。

私の自己紹介、大した人間ではございませんが。1958 年 1 月 28 日生まれ。護医療院と老健施設と居宅介護の支援所等の事業をやっている医療法人県政会の理事長をやっております。阪神タイガースのファンでございます。

1 月、アメリカのフロリダのオーランドっていうところで、ローゼンシングルクリックホテルっていう、巨大なホテルで 1 週間、世界のロータリーのその役員、理事、役員と次年度のロータリーのガバナーになる人たちの研修会がありました。2000 人近く世界のロータリーがこの巨大なホテル貸し切りで研修をおこないました。

世界中見ると、本当に女性のガバナーエレクトの方、非常に多いです。ライラの巨大型です。

ちなみに今日のお題は四つのテストありますね。例えばみんなのためになるかどうかっていうのがあるけど、このクラブの中ではこういう問題が起きました。これってみんなのためになるかどうかっていうのをちょっと話し合ひましょう。橋上さん、どう思いますって言われて、いきなり言われて、はい。橋上さんの言ったことに対して、あなたどう思いますか。と。質問されます。いろんな、お題を頂戴します。

学生の時よりも勉強しました。午後は今日の午前中の講演の感想文書いてくださって言うんですね。だから寝てる暇がないんです。本当に。4 日間缶詰でした。

今の AI でアニメ調のものを作ったので、これ見てください。



AI。

皆さん、こんにちは。早速、今回の解説に入っていきます。今回読み解いていくのは、2026、2027 年度の国際ロータリー会長に就任予定のインカ・ババノラ氏が掲げる、非常に力強く、そして私たちに多くを問いかけるビジョンです。彼が強く訴えかけているテーマ、それは持続可能なインパクトを生み出そうということです。これって、言葉にするのは簡単ですが、実はすごく欲が深いんですよね。そこでまず、皆さんに少し刺激的な質問をさせてください。私たちが地域社会で奉仕活動をするとき、私たちはただ単に活動をしているだけでしょうか？目の前の問題に一時的な絆創膏を貼って満足していないのでしょうか？それとも私たちが去った後も何世代にもわたって機能し続けるような本物の遺産を築いてあげていると言い切れるのでしょうか？セクションー変化とインパクトの違いについて見ていきましょう。

この問いに答えるためには、ババノラ氏が私たちに求めている根本的な考え方のシフトを理解する必要があります。それは、時間の経過とともに消えてしまうかもしれない変化と、地域社会に恒久的に定着するインパクトをはっきり区別するということです。変化って、いわば種を植えるような一時的な瞬間ですよね。でもインパクトは、その種がやがて大地になって、ずっと先まで人々に気概を提供し続ける、そんなイメージなんです。ですから、ここで絶対に押さえておきたいのは、変化を起こすための最初のアクションはもちろん重要だけれども、私たちの真のゴールは、プロジェクトが終わった後もずっと実装し続けるインパクトを残すことだという点なんです。続いて、セクシ

ョン 2「内なる変化を解き放つ」です。でも、世界に永続的なインパクトを与える前に、私たち自身がまず大きく変わらなきゃいけないって思いませんか。

ババノラ自身も 17 歳の時にそれを肌で感じているんです。彼が 10 代の時に参加した地元の地域プロジェクトが、それまで恵まれた環境で育ってきた彼の世界観を完全に打ち砕きました。そこで彼は、他者に奉仕することの本当の責任の重さを深く学んだんですね。ここで少し皆さんご自身の胸に手を当てて振り返ってみてください。奉仕活動に関わる中で、あなた自身はどう変わりましたかいろんな人と触れ合う中で。以前よりも少し寛容になったり、忍耐強くなったり、人の話をしっかり聞けるようになったり、そんな風に自然と皆さんの内面が磨かれてきたのではないのでしょうか。こうした内面的な成長って、結局、他者を心から受け入れること、つまり真の包括性へとつながっていくんです。若き日のババノラ氏の有名なエピソードがあります。あるクラブに入会しようとした時、傲慢な会長から入会には招待が必要だと言われたんですね。その時、彼はこう言い返したんです。子供が親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでしたよって。真のインクルージョンとは何かを作る、本当に見事な返しですよ。では、セクション 3 地域社会での永続的影響に進みましょう。そうした個人的な成長が、いかにして実際の地域社会への具体的なインパクトへと発展していくのでしょうか。南アフリカでの素晴らしい事例があります。このプロジェクトは、単にお金を出して学校の建物をポンと建てたわけじゃありません。恵まれない地域の女性たちにスキルを身につけさせ、自分たちの手で幼児教育センターを運営できるようにエンパワーしたんです。これによって、何世代にもわたる教育の波及効果が生まれたわけです。そして、こういう大規模なインパクトを生み出すには、とてつもないレベルの信頼が必要になってきます。

ナイジェリアで行われた、健康な家族のための協力という取り組みには、なんと 200 万ドルという莫大な補助金が投入されました。これだけのリソースをかける以上、一時的な変化で終わらせるわけにはいきませんよね。では、彼らは具体的にどう動いたのか。地域社会の奥深くまで入り込んで、住民との間に強固な協力体制を築き上げたんです。その結果、「妊婦健診だっていかない」という長年根付いていた文化を進んでクリニックを利用する文化へと根本から変革させました。人々の意識や行動を変える。これこそが、これから何十年にもわたって母と赤ちゃんの命を救い続ける本物のインパクトなんです。セクション 4、これの根絶が示す未来を見ていきます。ここで、ぐっと視野を広げて

地球規模での最も圧倒的なインパクトの例に注目してみましよう。

ポリオ根絶のミッションです。投じられた何十億ドルというお金の話だけでなく、人間が成し遂げたこの結果を見てください。かつては125の国で、毎日千人もの子供たちが麻痺に苦しんでいました。それが今ではわずか2カ国、一年間でたったの65件にまで激減しているんです。本当にものすごい成果ですよ。さらに心から驚かされるのはこの先の話なんです。世界中に張り巡らされた巨大な公衆衛生のネットワークは、その後エボラ出血熱や私たちの記憶にも新しい新型コロナウイルスと戦う際の接触者追跡のバックマンとしてそのまま活用されたんです。一つの目的で作られたシステムが別の世界的危機を救う。これが究極の遺産の姿ですよ。

最後のセクション5最高の自分を超えるです。これまで見てきたような歴史的な成功を胸に刻んだ上で、ババロラッシュは今これを聞いている私たち全員に直接的なチャレンジを投げかけています。ご自身の所属するクラブや組織の過去五年から七年を振り返ってみてください。会員数でも資金集めでも構いません。過去最高の成績だった年を見つけ出して、今期それを明確に上回る目標を立ててほしいと彼は言っているんです。私たちにとって一番健全なライバルって、他の誰かでも別の組織でもありません。過去の自分自身の最高記録なんですよ。その記録を乗り越えようとする内なる情熱こそが大事なんです。グッドからベターへ、そしてベストへ。自己ベストの更新に向けて、貪欲に挑戦し続けていきましょう。結局のところ、リーダーとしての肩書きや運氣としての一年間という時間は、いつか必ず終わりを迎えます。でも忘れないでください。役職は終わってもインパクトは残るんです。皆さんが心血を注いで地域に根付かせたシステムや、皆さんの行動によって救われた命は、未来永劫、そこに残り続けます。さあ、皆さんがこれから地域社会へ戻り、再び活動に向かうにあたって、最後にこの問いを皆さんの心に置いておきたいと思います。あなたが未来に残す永続的でインパクトのある遺産とは一体何でしょうかぜひ、この問いの答えをご自身の行動で示しててください。それでは、今回の解説はここまでです。また次回お会いしましょう。

オアラインカさんの表題をもとに私が方針と挙げたのがこのカムバックto信州です。次世代に向けて実のあるふるさと信州の関係づくりを新たな発想で考え、行動しようということです。世界的にもそうですけど人口減少、人手不足等ですが現状で行くと人口は増えません。そこでどう考えたか。

信州から出て行ってしまった人をまた呼び込む、帰ってきてもらう、それとか信州に興味のある人に来てもらうそうやって盛り上げていくしかないんじゃないかっていうことで、ロータリアンのそこで力を借りて、やろうと。あの事業を起こそう。そういう雰囲気を作り上げようという意味でいたしました。そこで、長野県の人口の推移です。これ見ていただくと分かるように、2000年をピークに。人口減少に転じまして、2022年までのたった22年間でなんと20万人も長野県の人口減少しちゃったんですね。長野県、女性の人口が減ってるっていうのは非常に問題になっています。

2070年までに長野県の人口、5割減少してしまいます。私たちロータリアンの知識経験を生かして進学後に戻ってこない青少年。その親世代を地元に戻しとどめ。さらに地元から離れている人たちや地方の人たちに新たな興味を持って戻ってきてもらう、来てもらうような行動を、ロータリアンの経験、知識、スキルを活かしてやりましょう。それには皆さんのやっぱり内なる変化も必要で、会員増強、退会防止につながってくるんじゃないかっていう発想で考えました。これも皆さん何回か見てらっしゃる画像だとか、ロータリーの行動計画。これをさらに今言われているわけですね。インパクトをもたらす、基盤を広げる、適応力を高める。皆さんの頭の中で、普段ロータリーカムバックしてきて、みんな若い世代が言ってもらう、そしてやがてロータリアンになってもらうっていうこと。基本中の基本の行動計画になると思います。いろいろ考えるときに、この行動計画っていうのを頭の中に入れていただくと、具体的なものが見えてくるんじゃないかって思います。ロータリークラブに入会したのにそういう価値を十分に感じられずに退会を考えてしまう人っていうのは少なくないと思います。しかし、ロータリーは本来は大人の学園です。自ら積極的に関わることで、ビジネスや人生を豊かにする大切さあの壮大なメリットを享受できる場所だってことを、どうか皆さん、気づいてもらいたいと思います。

よく言われる3K。例会に来て食って帰る。そういうふうにならないように、学びの場として考えてもらいたいと思います。そういうわけで今、長野県は進学で県外から出て、帰ってこない人が全国でも今問題になってるんですけど、長野県は全国の中でも本が一、二を争うぐらい県外に出てった人が戻ってこない。学校進学で。戻ってこないというケースが一番多いようです。ぜひ皆さんの背中を見せてもらいたいと思います。ロータリアンのスキルを生かした、キャリアメンタリングということで、ロータリアンは多種多様な専門職や経営スキルを持った人がいる。メン

ター、いわゆる相談役となって、ビジネスネットワークの提供、ネットワークの元祖はロータリーです。あの新しい世代にとって、地元での人脈づくりや未知の領域での勉強ができる場としての魅力を強調することが有効だと思います。そして、家族を大切にする本クラブでは、家族例会なんかを一生懸命やっていると伺いました。非常にいいことだと思います。クリスマス会、遠足や旅行でもいいです。パートナーや子どもさんたちを招待して、家族に理解してもらうことは非常に大事だなと思います。デジタルを活用した公共イメージの一貫ということで、皆さん分かち合おうと思います。今の若い人たちはみんなあの SNS を利用してます。具体的で目に見える奉仕活動の成果とかクラブの楽しそうな雰囲気っていうのをどんどん SNS を通じてやってもらいたいと思います。地域への貢献を通じた関心の喚起ということで、感動を呼ぶプロジェクトを企画していただいて、会員増強につなげてもらえればと思います。そして、若い人材を取り込むということで。カンバック to 信州の中心になるんですが、やっぱりインターアクトとかロンターアクトの方、講演と交流、そして援助。設立までに持って行っていただければ、そういう人たちがやがてはロータリアンになってくれる。長い目で見なきゃならない部分もありますが、大事だと思います。入会と両輪と言われる退会防止です。自分自身が楽しみながら新しい仲間を生み出すための秘訣がやっぱり肝心かなと思って。積極的に楽しむための四つポイントを挙げました。ロータリーを単なる義務。先ほど言ったように 3K ではなく、人生の大発信するには以下の姿勢が大切じゃないかなと思います。3 つの基本ルールがありますね。よく言われるロータリーは依頼されたことに対して、「はいか、イエスカ、喜んで、最近は待ってました」ということを言われます。親睦と奉仕を両輪で楽しんでください。損得勘定のない、いわゆる同志的な仲間づくり、感情を深めることが大事だと思います。そして、この 4 つのテストは本当に大事だと思います。

真実か、公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるか。これは、企業倫理自体が高まって、周囲から尊敬される人間になれるんじゃないかと思っています。ぜひ皆さん、メイキャップをやってください。自クラブだけでなく、他のクラブに行って、出張で行かれる方もいいと思う。どうか必ずロータリーやってますよね。そういうところに行ってください。今回いろいろ回ってますけど、もういろんな形があって、同じロータリーなのに全然違うっていうところもありますし、そうするとそこで刺激も受けます。新しい巡り合いがあります。27 年前にロータリーに入会した時

に先輩にロータリーアンになったんだったら、日本で一番最初にクラブ作った東京ロータリーメイキャップに来たまえて言われて、その年に帝国ホテルに行って、東京ロータリーでメイクアップしてきました。その時の親睦委員長が森繁久彌さんでした。そういう刺激も受ける同じロータリーアンということで、世界観が本当に広がる。それはもうロータリーの醍醐味だと思います。早期退会を防いで定着するためのマインドセットとして、高齢化。高コストとか運営の硬直化。それぞれ乗り越える価値があると思います。基本的にはロータリーっていうのは、聞く人が聞いたらふんって鼻で笑えるかもしれませんが、私が思うには本当、大人の学び舎だと思います。やりがいがある奉仕、参加することで直接ありがたうと言われるこの醍醐味というか喜び、満足感、あとは新たな会員を喜ぶためのあの戦略的アプローチとして。会員増強どうしてもクラブの活性化を維持するための不可欠な活動だと思います。クラブビジョンというのを共有する本クラブはできていると思います。本当に大事で。特に会員増強はその責任転嫁じゃありませんけど、その時の会長幹事さんのやる気が会員増強にもつながっていくと思います。

そして、やっぱり誠意と情熱を持って、誰でも入れればいいっていうんじゃないくて、入会に励んでください。そして、多様性 DEI ですね。よく最近言われています。多様な器官が混ざり合うということは、やっぱりいいことで、クラブに新しい活気が生まれるんじゃないかと思っています。ロータリー、最もよく奉仕するものは、最も多く報いられるという精神で成り立っています。まず、あなた自身が、ルールを理解しつつ、楽しんで、誰よりも活発に活動することで、その輝きは自然と新しい会員を呼び寄せる。会員でいるっていうことに対してなんとなく意味を見出せずに、毎回来ててもつまんねえなと思っている原因っていうのは、やっぱりあなた自身にあるのかもしれない。

最後に、動画をお見せします。去年まで RI で理事をされたアメリカのバトラーさんという方がロータリーを宣伝するにはどうしたらいいかっていう、本当に毎日悩んで、たまたま学校に自分のお嬢さんを送っていく時に、ミュージカルのサントラ版を車の中で聞いてたんですね、ミュージカル風に仕立てたロータリーの宣伝のものを作ったら受けるんじゃないかと思って友達に相談したら、ラップ調でやるといいんじゃないって言われて、AI で作ったええ画像がございます。数日で何万人というアクセスがあって、この画像を見た人とか、半分以上がロータリアンとは何も関係ない人がこれを見て、あのロータリーのことがすごくわかって、ロータリーってすごいな。ロータリーに入会したいっ

という話です。

この動画を見るとすごく勇気が湧いてくるので、どうか皆さん、こんな素晴らしいことをロータリーがやってる。皆さんはロータリアンとしての同じ仲間です。ロータリアンだということに誇りを持って、どうかやめないで、新入会員を増やしていただきたい。この動画の最後にポールハリスが語っている言葉を、改めて敬意を持って見せていただきました。皆さんの一年間のご活躍を心より祈念いたしまして、本日の講演を終了させていただきます。どうもご清聴ありがとうございました。

◆Paul Harris Rotary Rap 日本語字幕版で検索



諏訪湖畔「空へ像」の前

今後の例会日

9/13 (日)	諏訪湖 RC 合同 諏訪湖清掃
9/18(金)	ゴルフ例会・諏訪湖カントリークラブ
9/25(金)	ロータリーの友 特別月間
10/2(金)	IM&70 周年に向けて